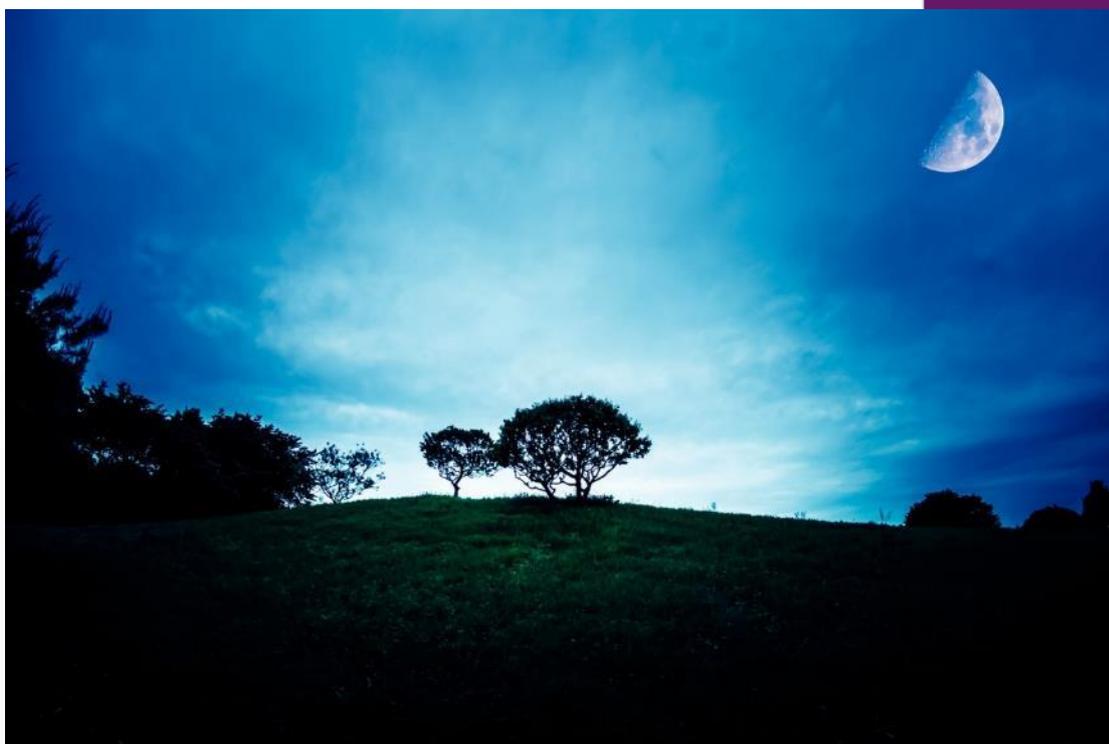


NASU-MATERIAL

環境報告書 2019



那須マテリアル株式会社

<http://www.nasu-material.co.jp>

環境報告書の作成にあたって

この環境報告書は、那須マテリアル株式会社における環境に関する活動の成果を取りまとめ、公表するものです。

■ 環境報告書対象組織

那須マテリアル株式会社
本社工場 (栃木県大田原市)
東北事業所 (福島県西白河郡西郷村)

■ 環境報告書対象期間

2018年 4月 1日 ~ 2019年 3月 31日

当社の平成30年度の活動をまとめたものです。

■ 参考にした基準又はガイドライン

この環境報告書は、環境省「環境報告書ガイドライン」を参考に作成いたしました。

発行 2019年 7月

<http://www.nasu-material.co.jp>

■ CONTENTS ■

1. 会社概要（グループ会社履歴・組織体制・グループ会社一覧）	3
2. 工場施設及び設備の概要	4
3. 環境方針	5
4. EMSの取り組み-（1）	6
EMSの取り組み-（2）	7
5. 教育訓練	8
6. 産業廃棄物の再資源化取り組み事例	9
7. 地球温暖化対策の取り組み	10
8. 地域社会への取り組み	11
9. その他の環境活動	12

1. 那須マテリアル株式会社について

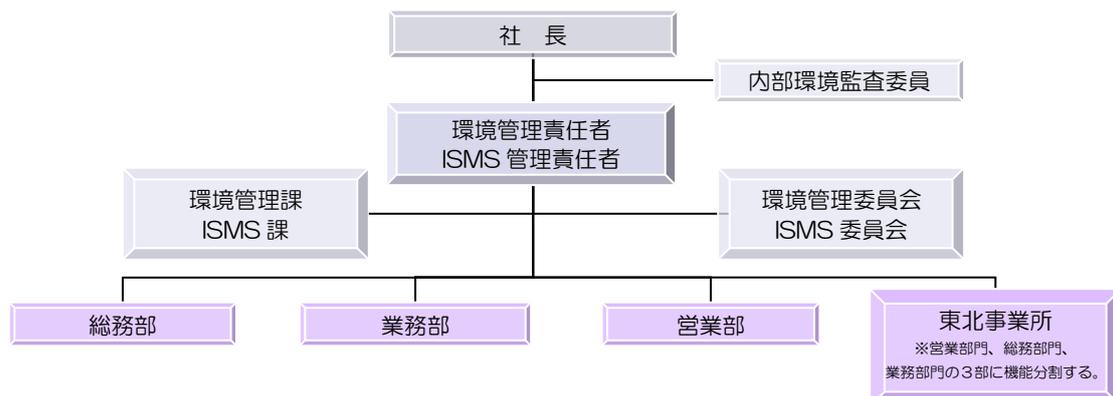
■ 会社概要

社名	那須マテリアル株式会社	資本金	56,000,000円 (平成30年3月現在)
創設年月日	平成9年9月9日	代表取締役	星 彰 治
操業開始日	平成12年4月1日	取締役	星 豪 紀
本社	栃木県大田原市北金丸2122	取締役	星 祐 見 子
東北事業所	福島県西白河郡西郷村大字 小田倉大平175-5	監査役	高梨 友子

■ 沿革

1997年 9月	那須マテリアル株式会社を設立	7月	I SO27001 更新審査合格
2000年 3月	栃木県産業廃棄物収集運搬業許可を取得 栃木県産業廃棄物処分業許可を取得	9月	茨城県産業廃棄物収集運搬業許可を取得
2002年 11月	福島県産業廃棄物収集運搬業許可を取得	11月	I SO14001 更新審査合格
12月	宇都宮市産業廃棄物収集運搬業許可を取得	2011年 9月	栃木県において「優良産廃処理業社認定制度」適合認定 (処分業・収集運搬業)
2003年 6月	星 彰治が代表取締役役に就任する	11月	群馬県産業廃棄物収集運搬業許可を更新
2004年 1月	那須マテリアル株式会社本社 I SO14001 認証を取得	群馬県において「優良産廃処理業社認定制度」(適合認定	
2005年 3月	栃木県産業廃棄物収集運搬業許可を更新 栃木県産業廃棄物処分業許可を更新	2012年 1月	福島県において「優良産廃処理業社認定制度」(適合認定
2006年 4月	福島県にシリコンの選別・検査・加工の施設として東北 事業所を開設する	2012年 9月	テフラインランドジャパン株式会社より、自社太陽光 発電モジュールの適合証明書及び、ライセンスが発行される
9月	一般労働者派遣業許可を取得	2013年 2月	太陽光発電設備(第一期)での売電を開始
10月	群馬県産業廃棄物収集運搬業許可を取得 東北事業所を助成登録	4月	太陽光発電設備(第二期)での売電を開始
2007年 8月	那須マテリアル株式会社本社・東北事業所 I SO27001の認証を取得	12月	東北事業所にて太陽光発電事業の開始
9月	秋田マテリアル株式会社を設立	2014年11月	福島県産業廃棄物収集運搬業許可を更新
10月	I SO14001 更新審査合格	2015年11月	茨城県産業廃棄物収集運搬業許可を更新 茨城県において「優良産廃処理業社認定制度」(適合認定
11月	福島県産業廃棄物収集運搬業許可を更新	2016年 2月	太陽光発電設備(低圧第四発電所)での売電を開始
12月	宇都宮市産業廃棄物収集運搬業許可を更新	2016年 2月	太陽光発電設備(低圧第一発電所)での売電を開始
2008年 1月	エヌズホールディングス株式会社を設立	2016年10月	太陽光発電設備(低圧第二発電所)での売電を開始
5月	秋田マテリアル株式会社、秋田県産業廃棄物処分業 許可を取得	2017年 3月	栃木県産業廃棄物収集運搬業許可を更新 栃木県産業廃棄物処分業許可を更新 引き続き「優良産廃処理業社認定制度」(適合認定(処・収)
2008年12月	郡山市産業廃棄物収集運搬業許可を取得	2017年10月	風力発電設備(低圧第一発電所)での売電を開始
2009年 4月	那須マテリアル株式会社東北事業所増築工事了	2018年 2月	栃木県産業廃棄物処分業許可において、取り扱う産業廃棄物 の種類の変更(木くずの追加)、移動式破砕機設置の追加
2010年 3月	栃木県産業廃棄物収集運搬業許可を更新 栃木県産業廃棄物処分業許可を更新	2018年 6月	太陽光発電設備(低圧第三発電所)での売電を開始
		12月	静岡県掛川市に太陽光発電所(高圧)を取得しました。

■ 環境への推進体制



2. 工場施設及び設備の概要

■ 本 社 工 場

- 所在地 栃木県大田原市北金丸 2122
敷地面積 33,510 m²
業務内容 ●OA機器・金融機器・家電等の電子機器等の手解体・選別により、鉄・非鉄、貴金属・ガラス・プラスチック・紙回収によるリサイクル
●シリコンスクラップの売買及び検査加工業務、並びにソーラーグレードシリコンインゴットの売買
●太陽光、風力を利用した発電業務、電力の販売、並びに太陽光発電施設の企画・提案、販売、太陽光発電機械器具の販売、設置
●建設資機材・環境機器のレンタル事業

●許可及び登録内容

許 可	区 域	許可番号	許可の年月日	許可の有効期限
産業廃棄物処分業	栃木県	00920068280	平成 30 年 2 月 2 日	平成 36 年 3 月 26 日
産業廃棄物処理施設設置許可	栃木県	45-1	平成 30 年 2 月 2 日	期限なし
産業廃棄物収集運搬業	栃木県	00910068280	平成 29 年 3 月 9 日	平成 36 年 3 月 8 日
産業廃棄物収集運搬業	福島県	00707068280	平成 26 年 12 月 26 日	平成 33 年 11 月 19 日
産業廃棄物収集運搬業	群馬県	01000068280	平成 30 年 10 月 6 日	平成 37 年 10 月 5 日
産業廃棄物収集運搬業	茨城県	00801068280	平成 27 年 11 月 9 日	平成 34 年 9 月 12 日
古物商許可証	なし	41108000911	平成 29 年 8 月 8 日	期限なし
労働者派遣事業許可	なし	派 09-300101	平成 18 年 9 月 1 日	令和 6 年 8 月 31 日

●保 有 設 備 (本 社 所 有)

名 称
破砕機 × 1
粉碎機 × 1
被覆電線処理装置 × 1
発泡スチロール減容再生機 × 1
フォークリフト × 2
ローリフト × 1
トラックスケール × 1
プリンター付デジタル計量器 × 1
2tトラック × 1
4tトラック × 2

●保 有 設 備 (本 社 レンタル品)

名 称
3.8m 敷鉄板 × 150
バックホウ油圧ショベル × 1
自走式木材破砕機 × 1



本社事務所

■ 東 北 事 業 所

- 所在地 福島県西白河郡西郷村大字小田倉字大平 175-5
敷地面積 2,940 m²
業務内容 ●鉄・非鉄、貴金属・プラスチック・紙回収によるリサイクル
●シリコンスクラップの売買及び検査加工業務、並びにソーラーグレード、シリコンインゴットの売買
●太陽光を使用した発電業務、電力の販売

●保 有 設 備 (東 北 事 業 所 所 有)

名 称
フォークリフト × 2
シリコン自動選別機 × 1
プリンター付デジタル計量器 × 1



東北事業所

■ グループ会社

● エヌズホールディングス株式会社

本 社 福島県西白河郡西郷村大字小田倉字大平 175-5 TEL 0248-48-0099
大田原支店 栃木県大田原市北金丸 2122 TEL 0287-20-2660

● 秋田マテリアル株式会社

本 社 秋田県にかほ市平沢字深谷地 16-8 TEL 0184-74-527
三 森 工 場 秋田県にかほ市三森字高田 20 番地



3. 環境方針

当社は、廃棄物を国際資源と捉え、手解体、手選別という手法により、再資源化・有効利用していく「循環型社会の構築」という夢に貢献して参ります。

当社は、産業廃棄物処分及び収集運搬事業、シリコンスクラップの再生利用事業、太陽光、風力の発電業務、太陽光関連機械器具販売という環境保全に関わる事業を展開していること、また、再資源化事業者として、2011年3月11日発生「東日本大震災」の復興に、素材の再資源化事業を通して付与して行く事を踏まえ、以下の方針に基づき環境管理を行います。

1. 当社は、当社の事業活動に伴って発生する環境影響等を認識し、環境負荷の低減に向け、環境マネジメントシステムの継続的改善及び汚染の予防に努めます。
2. 当社は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」等、当社の環境側面に関係して適用可能な法的要求事項及び当社が同意するその他要求事項を遵守することはもちろん、経済面・スタッフ・技術面において可能な限り更なる自主規制を設けます。
3. 当社の立地する大田原市金田地区は、ザゼン草の群生地や白鳥の飛来する羽田沼、また2006年4月開設した東北事業所の立地する福島県西郷地区は、日光国立公園「さわやか高原公園都市」と紹介され、大川、「阿武隈川」の源流や、隣の白河市には、日本最古の「南湖公園」が存在するという恵まれた自然環境であることを踏まえ、当社の事業活動における環境負荷抑制のための最重要課題として以下の項目を設定します。
 - (1) 太陽光発電、及び、風力発電業務における電力の供給を行い、自然エネルギーの有効利用を推進します。
 - (2) 省資源・省エネルギーの推進、環境負荷の軽減に努めます。
 - (3) 収集運搬車両の燃費向上に努め、CO2排出を抑制するよう、エコドライブを心がけます。
 - (4) 再生入荷物及びリサイクル品の資源・素材の再利用及び再生利用を行い、有効利用を促進します。
4. これらの環境目的に従事する従業員に周知・認識させ、更に個々の視点からの発想も積極的に取り入れていき、「実行」の仕組みを確立し、「点検」・「見直し」の機会を設けていきます。
5. この環境方針は当社で働く又は当社に委託されて働く全ての人に周知するほか、社外の利害関係者に公表致します。

作成：2004年 6月 18日

改定：2018年 3月 9日



那須マテリアル株式会社

代表取締役 星 彰治

4. EMS の取組み

■ 環境目標一覧表（全社）2018 年度

区分	環境目的	著しい環境側面	基準値	運用開始 15 年度目	
				2018 年度目標 期間：2018 年 4 月 ～2019 年 3 月	目標量等
Ⅰ 省エネ・省資源対策	1. 電力使用量の削減 (100V, 200V)	東北事業所の照明, 事務機器, 業務部門関連の施設設備 (プレス機) 等の稼働に伴う電力の消費 CO2 削減目標に置き換えて集計する	本社 H26 実績 : 38,885kwh 東北 H26 実績 : 18,991kwh 合計 : 57,876kwh	■ CO2 排出削減目標に置換える	
	2. プロパンガスの消費削減	本社総務部, 業務部で使用している給湯器	H29 年度実績 24 m ³		
Ⅱ 廃棄物等排出対策	3. CO2 の排出削減	「電力」「軽油」「ガソリン」「LP ガス」「灯油」の使用に伴う CO2 の排出	H29 年度実績値 : 49,302kgCO2	■ 目標 : 基準値比 1.0%削減	48,809kgCO2
Ⅲ その他環境に有益な項目	1. 再生入荷物・リサイクル品の取扱量の増加による資源・素材の再利用及び再生利用の促進 <small>※H29 年度実績値 : 本社再生品の実績値 (鉄、アルミ、ステンレス、プラスチック、雑品、シリコンの合計)</small>		H.29 年度実績: 1,269,753Kg	■ 基準値比 2.0%増加	1,295,148 kg
	2. 会社周辺のクリーン活動		H26 年度実績 2 回	■ 目標実施回数	2 回/年
	3. 再生可能エネルギー発電事業による CO2 の削減		H29 年度実績 610,531 kgCO2	■ 実績値の集計を実施する。	
	4. 新規アイテムのリサイクル業務		-	-	

Ⅰ 省エネ・省資源対策の「プロパンガスの消費削減」については、前年度の実績値が、前々年度の実績値を上回り、影響評価基準値を超えてしまったため、著しい環境側面に登録としました。Ⅱ 廃棄物等排出対策「CO2 の排出削減」については、目標値(基準値より 1%削減)の目標値には至らなかったため、今年度の目標は据え置きとし、1%削減目標としました。Ⅲ 有益な項目「再生可能エネルギー事業による CO2 の削減」につきましては、引き続き、発電実績を集計の上、CO2 の量を換算し、「CO2 の抑制実績」と致します。

4. EMS の取組み (2)

■ 活動実績と推移 (全社) 2018 年度

環境目的		2016年度実績	2017年度削減率	2018年度削減率	実績結果
廃棄物等排出対策	<ul style="list-style-type: none"> 電力使用量の削減 車輦からの排気ガスの削減 (営業車) 車輦からの排気ガスの削減 (トラック) CO2の排出削減 	<ul style="list-style-type: none"> CO2排出実績値 46,326 kg-CO2 	削減目標の目標値 9.0%増加 2016年度実績値 基準とすると 6.4% 増加	削減目標の目標値 0.7%増加 2016年度実績値 基準とすると 6.1% 削減	CO2の算出計算については、環境省の「温室効果ガス排出算定・報告・公表制度」及び「電気事業者別の排出係数」等を用いて算出した。 2017年度よりCO2排出量が増加傾向にあるが、顧客の拡張による、回収便の増加、それに伴い軽油使用量が増えたことが原因と考えられる。 次年度は、近年の作業実績や、一年間の見直しを考慮した上で、目標設定を行いたい。
	<ul style="list-style-type: none"> 再生入荷物・リサイクル品の取扱量の増加による資源・素材の再利用及び再生利用の促進 	<ul style="list-style-type: none"> 2016年度実績： 1,434,130kg 	2016年度実績を 基準値として -11.5% 減少	2016年度実績を 基準値として -11.0% 減少	「再生入荷物・リサイクル品の取扱量の増加」については、廃プラスチック類に関する海外輸出の規制の影響もあり、リサイクル品としての出荷については厳しい状況である。今後も市場の状況に留意し、に対応していく必要がある。
	<ul style="list-style-type: none"> 太陽光発電事業によるCO2の削減 	<ul style="list-style-type: none"> 2016年度実績： 599,257kg-CO2 	2016年度実績を 基準値として -1.15% 削減	2016年度実績を 基準値として 7.44% 削減UP	「太陽光発電事業によるCO2の削減」については、風力発電所も含め、「再生可能エネルギーによる事業場の拡大に伴って、CO2削減量が増加している。弊社の強みであるので、引き続き有益な活動として、より効率よく発電できる為の対策も必要となってくる。
その他環境に有益な項目	<ul style="list-style-type: none"> 新規アイテムのリサイクル業務 		TOP SECRET	TOP SECRET	

5. 教育訓練

2018年度 教育訓練計画（全社）

主管：環境管理課

教育名	教育の内容	対象者	実施期間	主管部門・機関
1.一般教育Ⅰ・Ⅱ	E M S概要、環境マネジメント活動全般（方針、目的目標、E M P等含む）	管理者・一般従業員全員 （本社・東北事業所）	6～7月	環境管理課 部門責任者
2.特定教育	・作業による顕在的又は潜在的な環境影響 ・手順書に従わなかった場合の環境影響 ・環境関連法規等 ・その他著しい環境側面に関する知識	適用者全員 （本社・東北事業所）	6～7月	部門責任者 推進リーダー
3.専門教育	外部セミナーに参加し、スキルアップを図る	今期内部監査リーダー	1回/年	外部セミナー
4.顧客要求事項教育	顧客先における環境安全教育の受講と社内における周知	該当部門責任者 関連作業従事者	1回/年	該当部門責任者
5.内部監査員教育	環境監査員養成講座 （環境管理責任者主催コース）	内部監査員候補者（1名予定）	9～10月	環境管理責任者
	環境監査員ブラッシュアップ教育	内部監査員新人メンバー （監査の前の訓練）	9～10月	内部監査リーダー
6.その他	産業廃棄物に関する教育	本社・東北	10月～ 12月	環境管理責任者
7.防災訓練・ 緊急事態対応 訓練	わが社が特定している緊急事態 緊急事態発生時での対応及び処置 緊急事態の実際の訓練	緊急事態が想定される業務に 従事している従業員 （本社・東北事業所）	9月	部門責任者 環境管理課
		会社全体に関わる緊急事態 全従業員	9月	環境管理課



当社では、毎年部門別または全社分の教育訓練計画に基づき、環境一般教育、特定教育、内部監査員教育等を実施し、すべての従業員に環境活動の取組みへの理解や環境意識の向上を図っております。また、教育効果をより向上させるため、少人数グループを形成して、実施しております。

毎年1回、緊急事態対応訓練や、防災訓練を実施し、対応手順の確認や、テスト、備品類の整備を実施しております。

6. 廃棄物の再資源化

■ 取り組み事例

排出事業者より処理委託を受けた産業廃棄物を、極めて細やかに手解体・手選別することにより、鉄・非鉄・貴金属・ガラス・プラスチック等のリサイクル化を行っております。

廃棄物の手解体による素材の分別

ノートパソコンの場合



CRT モニターの場合



リサイクル処理報告書の作成

当社では、排出事業者様のご希望がございましたら、リサイクル処理報告書、廃棄証明書、解体写真の提出、または、搬入時に担当者様の立会のもと、廃棄物の適正処理状況の確認をして頂いております。



素材の分別と出荷先



鉄類

電炉メーカー
丸棒材等・板材等



金属、シール付プラスチック類

セメントメーカー
セメント原料化
コンクリート骨材



電器部品

非鉄金属製錬所
金、銀、銅
Pd等を回収



非鉄金属

二次合金メーカー
丸材等・リサイクル素材



被覆線

ナゲット機で加工
(自社)
銅を回収



ガラス

再生ガラスメーカー
舗装材
コンクリート骨材



プラスチック類

再生樹脂メーカー
ペレット材
再生プラスチック



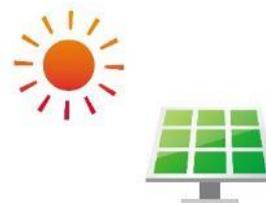
基板類

非鉄金属製錬所
金、銀、銅
Pd等を回収

当社では、顧客情報や、業務上知り得た情報について、機密性を重要視し、漏洩等がないようスタッフ一同訓練を受け、セキュリティ義務を遵守しております。

7. 地球温暖化対策の取り組み

■再生可能エネルギー



静岡県掛川市で太陽光発電所を(高圧)を取得しました



静岡県掛川市

秋田県にかほ市にて第三風力発電を開始しました



秋田県にかほ市

8. 地域社会への取り組み

■ クリーン活動

本社及び東北事業所の工場周辺を当社の従業員が、一定期間毎にクリーン活動を実施しております。



9. その他の環境活動

■ 太陽光発電施設のパトロールとパネル清掃

太陽光発電施設の発電効率アップのため、パネルを清掃しました。



那須マテリアル株式会社は、事業活動及びこの環境報告書の情報開示を通じ、

地球社会・顧客・お取引先様とコミュニケーションを計るとともに、

信頼確保に今後とも努めて参ります。

2019年 7月

那須マテリアル株式会社

代表取締役

Handwritten signature in black ink, consisting of stylized Japanese characters.